

特249

441

横濱市政夜話

衆議院議員 戸井嘉作



0009380000

0009380-000

特249-441

横濱市政夜話

戸井嘉作・著

国敬社小宮印刷所

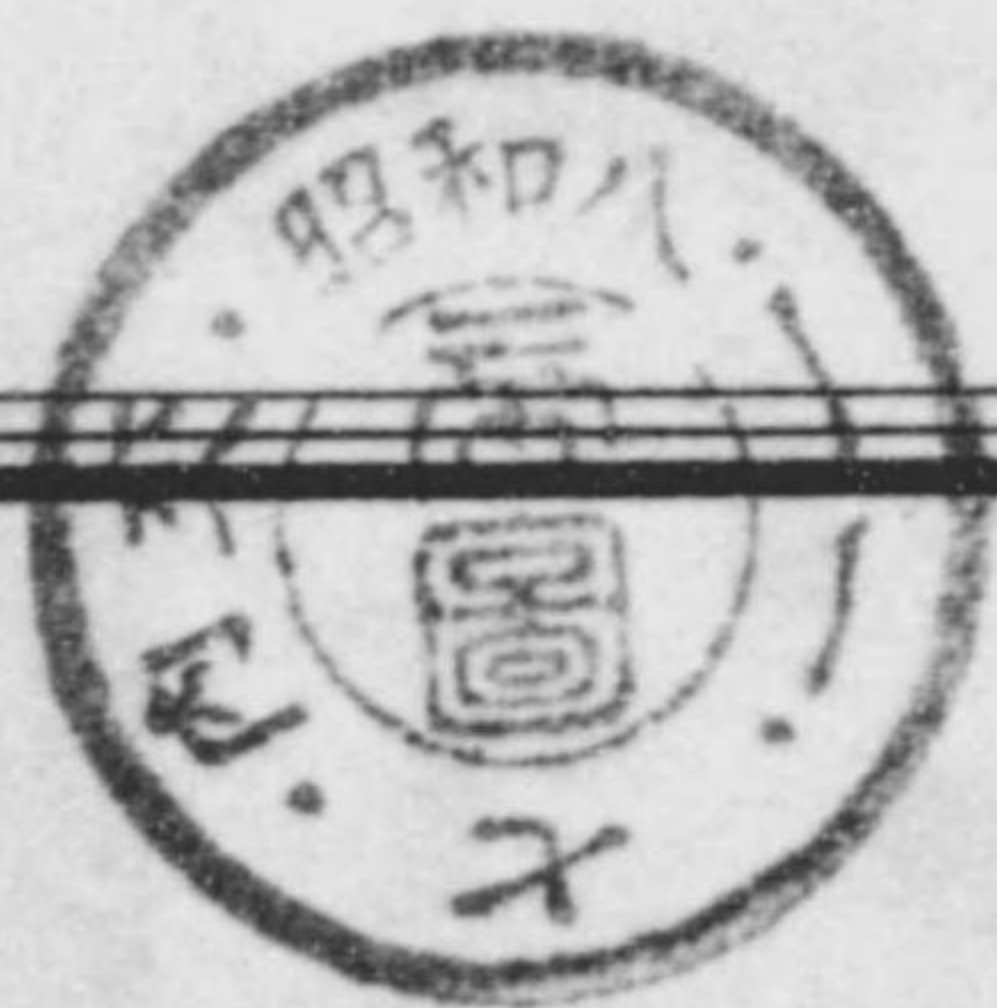
昭和8

ABI

特249
441

橫濱市政夜話

衆議院議員 戶井嘉作



自序

断片的に、記憶の糸を手繰つてこの小冊子たる『横濱
市政夜話』を書いて見た。

私が何を目指し、何を目標として市政の上を歩んで來
たか？ 輪廊だけはハツキリ判つて貰へると思ふ。

そして私の後から來る人々に、多少とも参考になれば
望外の悦びである。

私は私が關與した縣政並に國政についても引續き筆をとる心算であるが、この『横濱市政夜話』は其の三部曲の序曲ともいへやう。

昭和八年十月

松軒識す

二

私の市會初出馬と……

横濱市是の一大轉向

不肖、私が始めて市會議員に出馬致しましたのは明治三十五年一月でありました。其の頃選舉は一級二級三級に分かれて居りましたが、私は第一區一級から皆様の支持と後援に依つて、選出されたのであります。

當時の市是は『工業立市』といふことでありました。明

一

二
治三十三年、舊來の居留地制度が撤廢されると同時に、條約により今迄一定の場所に劃されてゐた貿易が内地に於て自由になし得る様になりました。それで四十有餘年われわれの父祖が血と汗とを以て築き上げた商業地としての横濱は、條約改正を契機として一大轉向を試みることになつたのであります。

そこで、識者が相倚つて、これ迄蓄積した勢力、資本を根幹として市勢を益々伸張させるには如何なる方法を取るべきか？ 横濱の發展策につき大いに研究したのであります。

すが、結局他から原料を取入れ、横濱で製造加工して内外に賣り擴めるなれば従來輸出港として片寄つてゐた横濱を輸出入港となし、輝かしき明日が約束されるだらうと、輿論が一致して『工業立市』の市是を定め商工併立主義のもとに進むことになつたのであります。

學區廢止を提唱して

社會主義者と非難さる

しかし、此の大策を實行實現するためには、是れまでの
黨派とか或は經濟上の行懸りを一切捨て、市民が協力一
致目的達成のために當らねばならぬと私は痛感致しました
し、又私の先輩同志も同じ考へでありました。

それには私は、先づ第一に『よき市民』を養成しなければならぬと考へ小學校教育の刷新を企圖したのであります

當時、横濱市は、市會議員の選舉區が五區に分れてゐた
如く、幾多の學區制度が布かれてゐて、富豪階級の多い所
は負擔力が強いので、學校の施設は充分に行届き、兒童の
待遇も非常によかつたのであります。これに反し負擔力
の弱い區では、學校の建築さへ思ふやうに行かず、従つて
兒童にも充分な教育を施すことが出来ぬといふ状態であつ
たのであります。同じく横濱市民の子弟であり乍ら一方は
教育施設に恵まれ他方は非常に虐げられて、甚だ差別待遇
があつたのであります。

六
私の選出された第一區は、負擔力が強く、學校の施設も完備して居りましたが、私はかゝる不平等な教育を改め、全市平等な教育を施し、更に進んでは授業料を撤廢し、教育費は總て市費を以つて賄はねばならぬといふ計畫を樹てたのであります。

當時の市長は市原盛宏氏でありました。同氏は第一銀行支店長として敏腕の譽高く又横濱市を中心とする商工業の實際研究家として知られておりました。そこでわれ／＼同志は横濱市百年の大計を樹て市政を委し得る人物はこの人を

おいて他にないといふので市長に推薦したのであります。新市長就任の機會に學區制を廢止して、人心を新たにすることをなつたのであります。各方面では、この劃期的議案の提出を非常に喜び迎へて呉れたのであります。負擔力の強い區では不平滿々たるものがあつたのであります。

殊に私が選出されてゐる第一區では、党派の別を論ぜず元老が共同線戦を張つて

『お前は第一區一級の利益を代表して市會に出てゐるの

に、そんな無謀なことをしては困るではないか』と私を頭から弾壓して来たのであります。

しかしながら、私は元老に挑戦して

『成程自分は第一區から選出されては居るが、一旦選ばれて議員となつた以上は、小さな、しかも不自由な選挙區等に捉はれず、横濱市といふ觀點に立脚して行動したい。

甚だ失禮な申分ではあるが第一區の一級から出てゐるといふ考は分自の念頭にはない。唯横濱市全体の福利といふことを考へるのみである。

將來横濱市を背負つて起つ有爲なる人材を作るにはどうしても完全なる小學教育を施さねば駄目である。それには富者が餘れる力を以つて足らざるを補ふといふことは、一種の美德ではないか』

と、斷呼として所信を述べ自己の主張を枉げなかつたのであります。私の説は當時としては、甚だ急進的であつたので『戸井は社會主義者のやうなことを言ふ男だ』

と、批評されましたが、一區から選出されてゐた桑原倉之助、渡邊文七、山田良助諸氏並に第三區の中村房次郎氏は

私と同じ考へで結束して實行に邁進されたのであります。

いよく議案が市民注目の裡に市會に提案されまして、

可否の討論に移たのであります。が、讚成論者として第二區

選出の福島辰次郎氏が

『斯くてこそ、教育の万全が期せられ、單に兒童のみなら

ず横濱市に大なる幸福をもたらすものである。しかしてこ

の學區廢止は、聽て選舉區をも撤廢し横濱市が打つて一丸

となる前提となろう』

と、言はれたことは至言として今尙耳底に残つて居ります

この學區廢止案は滿場一致を以て市會を通過して、われ
われの微力は遂に報ひられたのであります。

大震災後、横濱市内小學校の建物は近代的の鐵筋コンク
リートとなり、優れたる同一の教授方法を以つて兒童に教
育が施されてゐるのを見るにつけ私どもは當時を追懷して
誠に愉快に堪へぬ次第であります。

久遠の繁榮を目指し

工業招致策を樹立す

二三

此の勢ひに乗じて、市原市長を中心とし、第二期横濱港灣の擴張を、政府と共同して遂行したのであります。

明治三十七年には工業招致の具体案を樹立致しました。即ち工業家を誘致するには、工場地の提供が必要であると、いふので工業地區を設定することになりました。

それには公有水面を市營で埋立て、實費で工業家に提供

することになつたのであります。同時に事業の促進を圖るために、市は事業を起そうとする者には五ヶ年間市税即ち家屋税營業税附課割等を免除し、瓦斯及び水道料金等の割引を行ふ特典を與へることになり、現に實行しつゝあるものであります。

また、原料や生産品の運搬のため工業地帯へ運河を開鑿するため事業公債十八萬圓を投じ、帷子川千代崎川外一川の修築を行ひ、程土ヶ谷境から子安町に至る沿岸地外二ヶ所を工場地帯として新たに指定したのであります。

一三

一方これに併行して、工業教育にも力をそゝがねばならぬと云ふので、後の話ではありますが、大隈内閣の時、文相高田早苗氏に對し、中村房次郎氏が中心となり、高等工業學校招致の猛烈なる運動を試みました。それが成功して今弘明寺にある高等工業學校となつたのであります。

ところが、この工業招致の事業を遂行するに當り、一部に消極論がありました。

『是れは一部分の資本家の仕事であつて、われ／＼市民生活には何等關係のない事である』

と、盛んにデマを飛ばして、事業の進捗を阻害しようとして企てたのであります。

この消極論を唱へる人々は、横濱市の明日を理解出来ない所謂大局を達観することの出来ぬ一派と、選挙區の關係から心にもない反對論を唱へる輩であるといふことが判つたのであります。

茲に於てわれ／＼は小選挙區の弊害の甚大なることを痛切に感じ、どうしてもこの小選挙區制度を撤廢しなければならぬといふ決意を同志と共に固むるに至り準備に取掛つ

たのであります。

この時、われくが尊敬してゐた市原市長は、第二期港灣擴張問題が片付いたのを契機として、職を退かれ、後任市長として三橋信方氏が就任されました。

當時は第二次桂内閣時代でありましたが、桂公は日本の貿易港として第一位にある横濱に深い關心を拂はれ、横濱のために特に好意を持つて居られたので、われくも政党政派を超越して、市民が丸となり、桂公に據つて市百年の大計を遂行しようとする熱意に燃えてゐたのであります。

ところが、不幸にして三橋市長は、われくの計劃が未だ緒に就かない中に死去されたのであります。

そこで、後任市長を誰にすべきかといふ問題に達着したのであります。結局後任市長の推薦を桂公に依頼するこ
とになりました。

桂公が推薦されたのが、神奈川縣にゆかりあり當時長崎縣知事であつた荒川義太郎氏であつたのであります。市會は満場一致で荒川氏の市長を承認したので、私は助役齊藤松三氏、政友派代表脇澤金次郎氏と共に、長崎まで新市長

を出迎へに行つたのであります。

全市に澎湃と捲き起る

小選挙區の撤廢運動

荒川市長を迎へた横濱市は、小選挙區撤廢運動が再び熱して参りました、大正二年の夏表面化し正式に相談するところになりました。

併し選挙區撤廢はいざ實行となると、各方面にセンセーシヨンを捲き起し、自分が議員候補として出馬する都合や党派的關係から猛烈なる反對がありました、問題そのも

のが大義名分に立脚したものでありましたから、眞正面から反對することは出来なかつたのでありました。

其の時、内閣總理大臣の印綬を帯びてゐたのが山本權兵衛伯、内務大臣が原敬氏、本縣知事は大島久満次氏でありました。

大島知事は横濱市の實狀に鑑み選舉區を撤廢することが必要であると認め、實現のために大いに斡旋盡力されてゐたのであります。前述した如く選舉區が五つに分かれて居り、級別も一級二級三級となつて居りましたから大選舉區

になれば、一級選舉では憲政派が非常な有利な地位に立ちしかも連記投票であるから他派の議員は一人も選出出来ぬといふことになりますので、政友會では神經を尖らして、暗々裡に反對の計画を進めつゝあつたのであります。

そこでわれ々は大選舉區制を實施するのは党派の利害から打算して、之れを主張するのではなく、横濱市の將來のために實施するのであるから市會議員定員四十八名中三分の一を占める一級選出議員十六名は政友、憲政双方から八名宛出すやうにして、其の選任方に就いては大島知事立

會のもとに行つたなれば政友會との正面衝突をさげ得られ
 圓滿に問題は解決出来るであろうと考へ、此の協調案を主
 張したのであります。

大島知事は反對派の某、某氏を呼び、諒解を求めたところ
 某、某氏も此の案に賛成したので、いよく實行する段
 取りになつたところ、端なくも一つの支障が突發したので
 あります。

市會の決議握り潰され

正義派議員連袂辞職

それは横濱市ではなく三多摩方面……政友會の絶對地盤
 から小選挙區を撤廢し大選挙區とすることは憲政派が關東
 地方に党勢を伸張する予備運動であるから横濱市の政友會
 はあくまで之れに反對しなければならぬと横槍を入れて、
 壯士達が乗込んで来て盛んに宣傳煽動したのであります。
 其のために人心が再び動搖して、この選挙區撤廢案が市

會に上提された日は、案の運命を氣づかつて讚否兩方の傍聽人が潮のやうに議場に押寄せ、傍聽席から溢れて議席の中まで傍聽人が立ちふさがる有様で市會あつて以來の緊張振りでありました。議事の進行に従ひ議場が熱して來ると敵味方の怒罵が交錯し、果てはビール瓶、コップが唸りを生じて飛び、撲り合ひが各所に始まる暴行沙汰……議場は混亂の極に達しましたが、議長金子政吉氏は大騷擾の裡に悠然として、この劃時代的の議案を通過させて、大島知事の許に市會の決議を提出したのであります。

われ／＼は大選舉區制度が知事からすぐ認可になるだるうと思つてゐましたところ、意外にも政友會の故横田千之助氏が縣廳に大島知事を訪問して認可することを押へてしまつたのであります。

斯くて市會の決議は宙に迷ひ、市の有力者は原内務大臣を訪れ、早く認可されたいと種々陳情致しましたが、原氏はいつも要領を得ぬ態度で取合はず、遂に大選舉區制は不認可に終つたのであります。

不認可になると『市會の權能を無視し、自治權を蹂躪す

ること甚だし』と囂々たる議論が起り、選挙區撤廢を主張した多數市會議員は大いに憤慨して連袂辭職しこゝに自治體の議政機關は一時停止するの止むなきに到つたのであります。

彈壓干涉の嵐の裡に

市會の總選舉行はる

斯くて大正三年一月、議員が連袂辭職して三ヶ月目にいよく市會議員の總選舉が行はれることになつたのであります。

嘗ては大選舉區論者であつた大島知事は、こんどの市會議員選舉には立場を異にして、大選舉區派を彈庄しなければならぬ破目になり、選挙干涉のために警察官の異動を行

ふことになつたのであります。

先づ選挙で一番重要な伊勢佐木署の署長高橋辰馬君を閑散な水上署に轉勤させ、政友臭紛々たる水上署長岡田某を伊勢佐木署長に据へ、干涉の準備を進めたのであります。是れがため高橋君は大いに憤慨して斷然辭職してしまひました。

扱て選挙の火蓋が切られると知事官邸は政友會選挙の秘密室となり、干涉彈壓の大鐵槌が下されて大舉選區派は非常に惡戰苦闘をしたのであります。

この彈壓の嵐を衝いて、十二月十六日伊勢佐木町相撲常設館で、大隈老候を迎へ自治權擁護の大演說會を開きました。其の夜は大雪でありましたが、自治權蹂躪に沸き立つた市民大衆は常設館へ立錐の餘地もなく詰め掛け日本一の大雄辯家大隈候の

『自治權の蹂躪も甚だしきものである』

と、いふ獅子吼にスツカリ魅せられて、喊聲拍手は雪に静まり返つた伊勢佐木町にどよめき渡る盛況でありました。これをきつかけに市内全面的に選挙演說の砲列が布かれた

のでありますが、現在の横濱民政党支部の前身たる自治俱樂部は、この時生れたのであります。

選挙開票の結果は、この自治権擁護の運動が大衆へ響いてか、一番範囲の廣い三級では自治俱樂部が未曾有の大勝を博したが、一級では背負ひ投げを喰ひ第一區の五人を全部政友派にとられてしまひまして結局市會の分野は大選挙區派二十七名であつたのが二十二名に減じ、政友會の十七名が五名増加して二十二名となり運動に勝つて勝負に負け形となりました。中立は四名當選したが兩方に二名宛分

れ大選挙區派と政友派との勢力は全く伯仲したのであります。議長選挙では大選挙區派の大濱忠三郎氏を推すことが出来て市會の議政機關は整ふことが出来ましたが、横濱市の自治権蹂躪は中央の問題となり衆議院で島田三郎君貴族院では小野光景君が、原内務大臣に詰問を試み天下の視聽を集めたのであります。其の内に山本内閣は瓦壊して、大隈内閣が組閣され大島知事は罷免となり石原建三氏と代る一方荒川市長も辭職致しました。

そこで荒川氏の後任には政友會から推薦した安藤謙介氏

と決定致しましたが、安藤氏の次にはわれ／＼同志は後藤新平氏の秘蔵つ子の一人、元満鐵理事久保田政周氏を市長に挙げたのであります。久保田氏は市長就任と共に着々敏腕を發揮されて、市電氣局の買収をはじめ市政の上に幾多の貢献を残されたのであります。

高商敷地問題紛糾し

同志の大分裂を生ず

其の後大正七年の總改選に於てわれ／＼は二十八名といふ市會の絶對多數を擁したのでありますが、とかく大世帯になると意見が一致しない嫌いがあります。われ／＼は何とかして同志の統制を圖らねばならぬと考へて居りました時、たまく高等商業學校敷地問題が惹起致しまして遂に同志の分裂となつたのであります。

この高商敷地問題といふのは、横濱市の高商招致運動が奏功して、いよく學校を建築するが敷地をどこにするかで暗礁へ乗り上げてしまつたのであります。

學校が出来れば土地の發展になるので各方面から猛烈なる敷地の争奪戦が行はれましたが、中で最も有力な候補地は神奈川、南太田、本牧の三ヶ所であつたのであります。

市當局では慎重調査の結果、交通其他の點から見て神奈川齊藤分と敷地を定め地元でも敷地を寄附することを承諾し文部省でもよろしいとなつたのであります。市會で

は神奈川案は否決され、文部省への答申は何處とも指定せず、神奈川以外の場所として報告し遂に現在の南太田と決定されてしまつたのであります。この南太田へ敷地を持つて来た策動は勿論地方的であつたが、大體小數党の政友會で、この機會にわれ々の結束をも攪亂せんとする魂膽からいろいろ暗躍を試みた結果われ々は遂に其の罠に陥つた譯であります。

併し、大正十一年一月の選舉には、定員五十二名中われわれの憲政派が二十四名、政友派は十五名、中立二名、中

庸會三名が當選して、再び市會の絶對多數を確保したのであります。

同年十一月久保田氏辭職の後を襲ふて、われ／＼憲政派から推薦された渡邊勝三郎氏が市長に就任したのであります。最初政友會では渡邊市長に絶對反對致しましたが市政運用の圓滿といふ點から全會一致で同氏が推薦されたのであります。

渡邊氏は高商問題の後始末等や政友會の嫌がらせで難局に立つて居られましたが、其の中にも一意専心市政のため

に盡力されて居りました。

未曾有の關東大震災 廢墟に復興を誓ふ

しかるに、大正十二年九月一日、有史以來の關東大震災
 が起り帝都並に横濱は大慘禍を蒙り、世界に誇る國際港都
 横濱は一瞬にして灰燼に歸し、死屍壘々たる焼野原と化し
 てしまつたのであります。

廢墟の中から、裸體で立ち上つたわれ々は勇氣を鼓舞
 し横濱の復興復舊に微力を盡すことになつたのであります

震災直後、忘れも致しませぬが、九月十一日滿目荒涼た
 る櫻木町中央職業紹介所の屋上で緊急バラック市會を開き
 ましたが、其の歸途、竹の枝をつきながら反對党の赤尾彦
 作氏と共に復興のことについて泌々と語り合つたのであり
 ます。

『互に永ひ間、政治的立場を異にしてゐる關係上、鎬を削
 つて争つて來たが、横濱市を起死回生せしめなければなら
 ぬ場合、小さな政争等はサラリと捨て、市會は協調提携し
 て、復舊復興事業を完成しなければならぬ』

と、自分達の意見は完全に一致したのであります。

最初復興事業については渡邊市長と新지사安河内麻吉氏との間に意見の杆格を生じ、渡邊氏は非常な苦杯を嘗められたのでありますが、護憲内閣出現と共に知事が更迭し清野長太郎氏となりました、縣市の歩調が一致し政府方面の諒解も得てすべてが圓滑に運んだので、反対党も漸次渡邊氏の手腕を認め之れに讃辭を呈するやうになつて來たのであります、復興事業の一段落がつくと渡邊市長は辭職されて東柘總裁として横濱市を去られたのであります。

横濱市の癌種たりし

磯子埋立問題解決す

渡邊氏が去るに臨み、年來の縣案につき解決方を清野知事に委託された一事がありました。

それは磯子埋立事件で、大正十年からの問題でありました。前述したやうに横濱市は工業招致の市是として埋立を行ふことになつてゐましたが、市の磯子埋立計劃の先きを潜つて或る一派が磯子埋立を縣へ出願し、市と競願となつ

たのであります。或る一派に諒解を與へたと傳へられた當時の知事井上孝哉氏も裁定に困り遂に折半埋立といふことで、双方に妥協を求めたのであります。市は是れに應じないのみならず、市民大會等が開かれて、反對の烽火が擧げられ、騒ぎは益々擴大したのであります。

井上氏に次いで安河内知事になりましたが、同知事も此の問題を單なる党派争ひと誤解した模様でありましたが、といふて市の出願を無碍に却下する事も出来ず、荏苒日を送つてゐたのであります。横濱市では市電杉田線開通の

必要に迫まられ、埋立てを放任して置く譯に行かないので渡邊市長は成行を憂慮され、出願者某、某氏と折衝の結果、某、某氏等は市が五萬二千圓を賠償金として提供するならば出願を取消すと話を持ち出したのであります。渡邊市長は之れを不當となし二萬圓位なれば市から支拂つてよいと主張し互ひに譲らず問題は停頓してしまつた………といふのが磯子埋立問題の経緯であつたのであります。

清野知事は埋立問題の解決に當り、公益上當然横濱市に認可を與へる方針を以て臨み、磯子漁業組合の漁業權補償

に對しても適當なる處置を講じ、一方某、某氏等に對しても亦讓歩を求めましたが、某、某氏は頑強に反對し、若し先願權を無視して市に埋立を認可するなれば、行政訴訟を提起し飽くまで抗争すると敦圀き、交渉は決裂せんとしたが、某有力者の居中調停で、一万五千圓の辨償で覺がつき漸く解決したのであります。

併し、一萬五千圓でも金額が多過ぎ、某、某氏は不當利得をなしたと當時非難の聲が高かつたのであります。斯くして、横濱市の癌種とも謂はれた磯子問題も解決さ

れましたが、渡邊前市長の後任を如何にすべきかといふ課題が後に残されたのであります。

有吉市長を迎へて

復興復舊事業を完成

今迄市長選挙には、いろ／＼苦き経験を有してゐる上に震災の復興復舊といふ大問題を控へてゐるため、各派が党派關係を超越して考究した結果、前神奈川県知事であつた有吉忠一氏を迎へることになり市會は満場一致で有吉氏を推薦したのであります。従來も満場一致といふことはありましたがそれは單に形式的であつて、政友派が足らず、わ

れ／＼にやむなく追従して來たのであります。併し、有吉氏を迎へるときは、各派共に衷心からこの市長を擁して復興復舊事業を完成しなければならぬといふ鐵石の心腸により、一致團結したのであります。

由來、如何なる大手腕家と雖も、環境宜しきを得ざれば地方自治に於ては充分な實績を擧げ得ることは至難とされて居るのであります。

幸にして、横濱市では、市會の政民兩派が協調提携し、市長の後楯となり、名市長有吉忠一氏をして、縦横に其の

手腕を發揮せしめたので、帝都東京に先んずること一年、美事横濱の復興復舊を完成し、畏くも昭和四年四月二十三日に聖上陛下の行幸を仰ぎ奉り横濱の復興状況を齎せ奉つたのであります。

爾來、われは外形的復興に一層の拍車をかけると共に、内部的充實、經濟復興につき政民提携して着々と準備工作を進めつゝあるのでありますが、一知半解の無産党等が『妥協市會』と稱して、之れを打倒しなければならぬと事毎に理事者に反對しつゝあるのは、誠に擧蹙すべき事

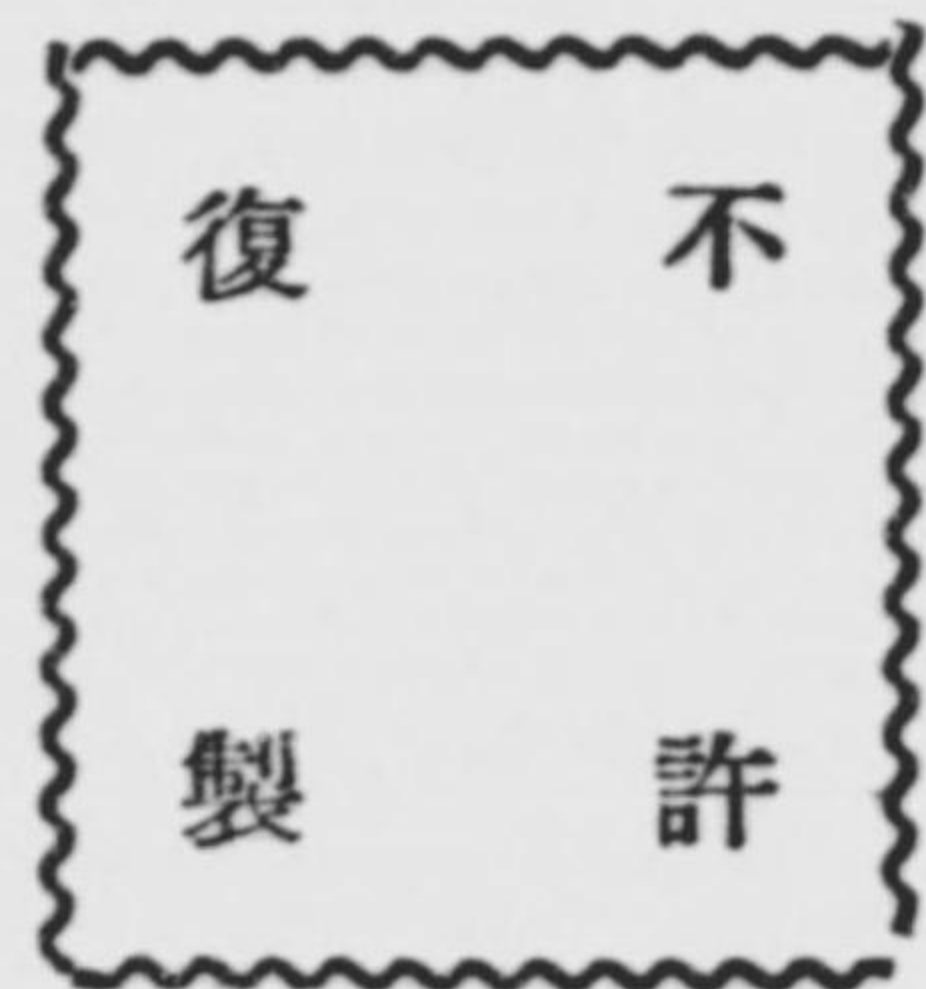
市會の毒素と言はねばなりません。

最近の市政については、よく一般に知られて居りますから、贅言を費しません。とにかくわれは年來の主張である商と工とを兩翼とする商工立市の大策を實現し、眞の大横濱を建設しなければならぬと考へるのであります。

—完—

昭和八年十月十五日印刷
昭和八年十月十七日發行

(橫濱市政夜話) 奥附
(非賣品)



著者 戶井嘉作
發行者 橫濱市神奈川區澤渡町二一
平島吉之助
印刷者 橫濱市中區榎町二ノ六五
小宮武義

發行所

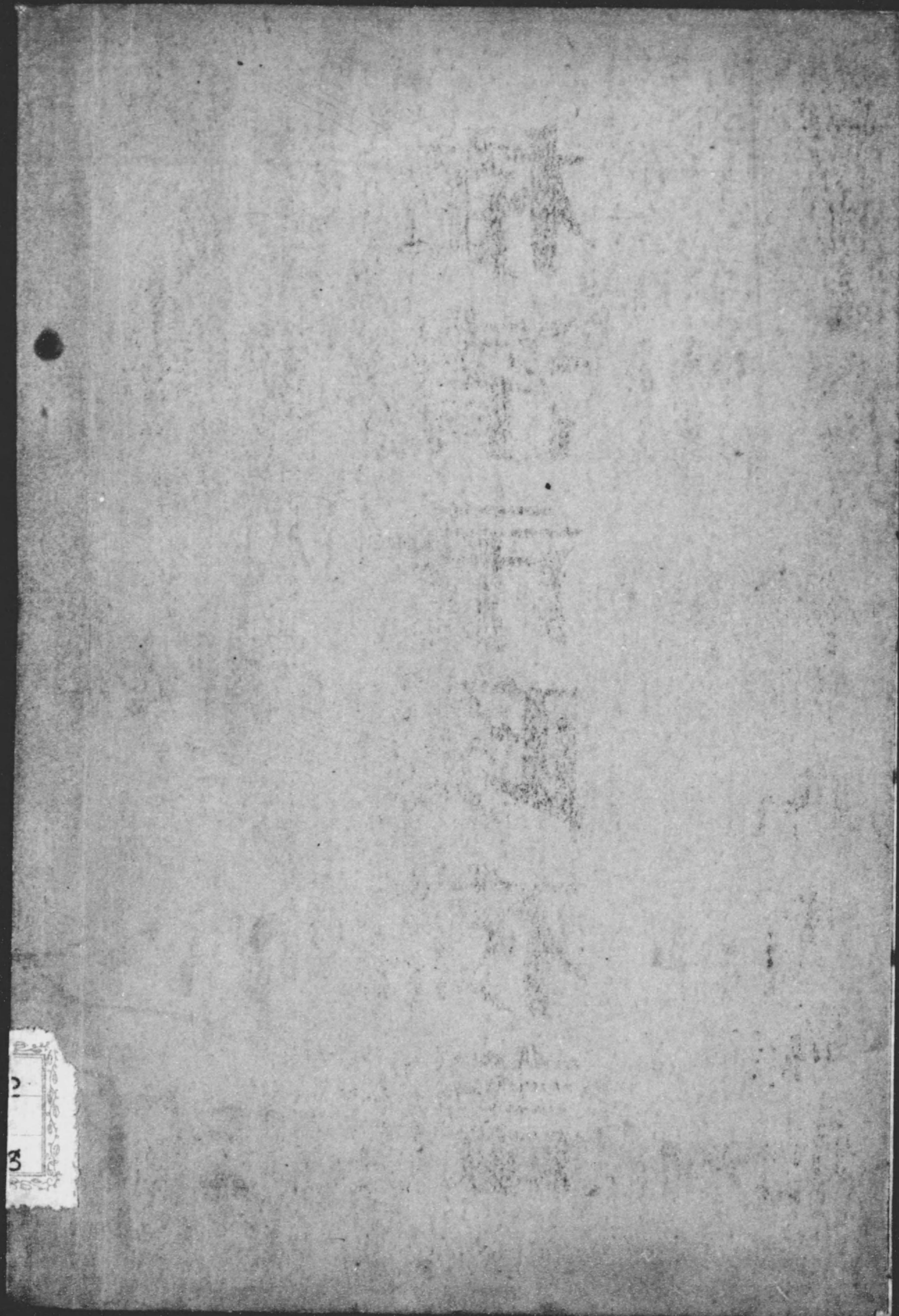
橫濱市中區
榎町二丁目

國敬社
小宮印刷所

小宮印刷所印刷

Table with 2 columns and 10 rows of faint text.

Column 1	Column 2
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10



3